

楠の子



佐賀県立中原特別支援学校「学校新聞」

第 3 号

令和2年7月22日発行(総務・広報部)

「2度目の新学期今を大切に」 (本校舎教頭 近藤 清孝)

4月に新学期が始まりましたが、ほどなくして新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休業となりました。約1か月後に学校が再開し、2度目の新学期が始まったような感じがしています。

その間、生活環境の変化が大きかったため、再開後も、児童生徒も保護者のみなさまもさまざまなストレスを感じているのではないかと思います。

先日東佐賀病院の先生にお話を伺ったところ、心の面の健康に加え、体を動かす機会が減ったことなどから身体面の健康にも注意する必要があるとのことでした。

今後もしばらくは感染に気を付けながら生活していくことになりますが、お互いに心身共に気を配りながら過ごすことができればと思っています。

「風船で遊ぼう！&みずであそぼう！」 (本校舎小学部)

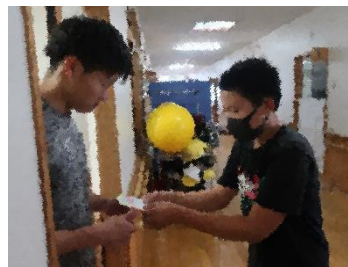
C課程2年生は、中庭にビニールプールを出し、みんなで水遊びをしました。水の入ったペットボトルをひっくり返したり、ウォーター 슬라이ダーに水やボールを流したり、好きな遊びで時間いっぱい遊びました。

F課程2年生は、新しく転入生を迎えて4人になりました。みんなで一緒にいろいろな活動を楽しんでいます。国語では、「うえきばちです」のお話に合わせて、「目」や「耳」で感じながら学習しました。



「ボランティア活動 ～ペットボトルキャップ集め～」(本校舎中学部)

C課程2年生は、ペットボトルキャップを集めてワクチンに換え、途上国の子供たちへ届けるボランティア活動に取り組んでいます。これは、「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」が行っている活動です。ポスターを作成して校内に掲示したり、児童生徒や職員に呼びかけをしたりするなど、できるだけ多くのキャップを集められるように取り組んでいます。事務室前や職員室前に回収ボックスを設置していますので、みなさんのご協力をお願いします。



「前期現場実習・校内実習」(本校舎高等部)

6月22日から7月3日までの2週間、高等部前期現場実習・校内実習を行いました。

実際に一般企業や福祉事業所に出勤して、各自で立てた目標を達成できるようにそれぞれの現場で一生懸命に取り組んでいました。校内実習では学校を職場と考え、主に袋解体を取り組みました。挨拶や返事、報告など社会人として必要なスキルを学んだことを今後の生活に生かしてほしいと思います。



「やっぱり、学校の勉強は楽しいなあ。」(分校舎)

東佐賀病院では、検温や体調チェック、手洗い、消毒など感染症対策がしっかりと行われています。学校の授業再開においても、密を避けるなど、注意を十分に払っています。そんな中ですが、児童生徒のみなさんは笑顔がとても輝いていて、楽しく学習や活動に取り組んでいます。遅ればせながら、やっとまいた朝顔やひまわりの種も、大急ぎで芽を出してくれました。病棟内の児童生徒のみなさんは、分校舎に登校できる友達や先生がビデオや写真に撮ったものを見ながら、生長を楽しみにしています。若楠療育園のみなさんの野菜も葉が青々として大きくなってきました。



「プールでの授業が始まりました!!!」(鳥栖田代分校 小学部)

真夏の日差しの下、プールでは、元気な声が響きました。何日も前から「プールある?」と聞いて、楽しみにしていた子供達。今年の鳥栖田代分校は、中学部も小学部もプールでの授業は週2回です。大喜びで水の中に入る子や恐る恐る足をつける子など、反応は様々ですが、体を思いっきり動かして、夏を楽しんでいます。1日でも多くプールに入ることができるといいなと思います。

